

# 平成29年度 公益財団法人栃木県体育協会事業報告書

## 基本方針

県民のスポーツ活動に対するニーズはますます増大し、かつ多様化しており、栃木県が策定した栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」の目指す将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向け、スポーツを通じた「健やかな人づくり」を進めるとともに、国体等の本県開催を見据えた「競技力向上」を図るために、各種事業を推進した。

平成29年度は、加盟団体をはじめ関係機関・団体との緊密な連携のもと、県民スポーツ大会の開催、スポーツ少年団の育成強化、総合型地域スポーツクラブの育成、スポーツ指導者の育成及びスポーツ国際交流等の諸事業を推進し、スポーツの普及と充実を図るとともに、国民体育大会等に参加する選手の育成・強化事業を推進した。

これらの諸事業を推進するための拠点施設として、今市青少年スポーツセンター・栃木県体育館の施設整備と適切な管理運営に努めた。

## 1 スポーツ振興事業

### (1) 各種大会開催事業

栃木県民スポーツ大会の開催

「県民ひとり1スポーツ」の推進をスローガンとして、広く県民へのスポーツ振興を図り、生涯にわたり健康や体力の保持増進を図るとともに、明朗にして連帯感あふれた活力ある地域づくりに寄与することを目的として開催し、地方大会並びに中央大会の参加選手・役員は24,382名、観覧者は5,576名、計29,958名であった。

#### ① 地方大会（市町大会）

市町大会を中央大会の予選として、平成29年5月～8月にかけて開催し、17,936名が参加した。

#### ② 中央大会実施競技

対抗競技19競技、オープン競技5競技を33会場で開催し、6,446名が参加した。

第1日目 平成29年10月8日（日）軟式野球競技のみ

第2日目 平成29年10月15日（日）水泳競技ほか20競技 ※雨のため一部中断・中止

第3日目 平成29年10月22日（日）卓球競技ほか5競技 ※台風のため3競技が中止

#### ③ 総合表彰式

平成29年12月7日（木）スポーツ会館（会議室）において、総合優勝、総合準優勝、総合第3位、スポーツ奨励賞市町の表彰を行った。

### (2) スポーツ医・科学事業

スポーツの多様化・高度化及び活性化に対応するため、スポーツ医・科学委員会が理事会の諮問に応じスポーツ医科学に関する調査・研究活動を実施するとともに、スポーツ医・科学研修会等を開催し、適正なスポーツ指導を行った。

さらに、第77回とちぎ国体を視野に、各競技団体から推薦された有望選手のチームを対象に、県競技力向上対策本部からスポーツ医科学サポート事業を受託し、競技力の向上に努めた。

ア スポーツ医・科学委員会及び研究班員会の開催

#### ① スポーツ医・科学委員会 2回（6月22日、2月22日）

- ② ワーキンググループ会議 3回（6月15日、9月14日、2月8日）
- ③ 健康管理調査研究班員会 2回（8月24日、1月11日）

#### イ 調査・研究活動

##### ① 国体選手の健康管理調査

健康管理調査研究班員を中心に、国体に参加する選手を対象にメディカルチェックを実施し、日頃のトレーニングや大会参加中の事故防止に万全を期すると同時に、県内の（公財）日本体育協会公認スポーツドクターとの連携を図った。

##### ② 医科学分野をはじめとするメディカルサポート事業

一人でも多くの県民が豊かなスポーツライフを享受するため、医科学分野をはじめとした総合的な支援事業を行う。今年度はモデル支援団体（宇都宮文星女子高校バスケットボール部・陸上競技部）で実施した。

##### ③ スポーツ医・科学サポート事業

競技力の向上を目的に、医学・科学・栄養学・AT・心理学の専門家を希望する競技（延べ14チーム）に派遣した。

##### ④ 国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発活動（健康管理調査研究班員会）

国体におけるドーピングコントロール実施に伴い、国体に参加する選手、監督及びコーチを対象に薬の乱用・誤用の認識を高めるため、研修会の開催や資料の配布等を通して健全なスポーツ活動の啓発を推進した。

##### ⑤ 指導者研修事業

選手の育成強化を行う指導者等を対象に、スポーツドクター、トレーナー、科学者等を派遣し研修会等を行い資質の向上を図った。

#### ウ スポーツ医科学情報の提供

ホームページ等を活用し、スポーツ医科学の情報提供に努めるとともに、スポーツ医科学サポート事業報告書を作成した。

### (3) 顕彰事業

本県体育・スポーツの振興に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を称え表彰した。〔平成30年2月16日（金） 県公館〕

#### ア スポーツ功労賞

地域職域等において、指導者等として永年にわたってスポーツの普及・発展に貢献した者、又は、加盟団体等の役員・指導者として振興・発展に貢献した者6名を表彰した。

#### イ スポーツ優良団体賞

地域社会・職場職域等において、永年にわたってスポーツの普及・振興に貢献した5団体を表彰した。

#### ウ スポーツ優秀選手賞

国際大会に出場及び日本選手権大会で優勝並びに国際大会で優秀な成績を残した選手12名を表彰した。

#### エ 船田スポーツ賞

若手指導者として、国体、国際大会等で優秀な成績を収めた選手を育成し、今後も活躍が期待できる1名を表彰した。

#### オ 国民体育大会優秀団体・監督・選手感謝状

国民体育大会において、優秀な成績を収めた19競技団体の監督等26名及び選手123名に感謝状を贈呈した。

カ 栃木県中学校スポーツ最優秀賞（星功賞）

心身ともに健康な中学生を対象に各種スポーツ大会において優秀な成績を収め、本県中学校スポーツの振興に貢献のあった個人又は団体を、(公財)栃木県体育協会及び栃木県中学校体育連盟の連名で選手36名を表彰した。

(4) スポーツ指導者育成事業

本県スポーツの一層の振興を図るため、多様化・高度化した県民のニーズに応え、適切な指導のできる地域スポーツ指導者を育成した。

ア スポーツ指導員・上級指導員養成講習会の開催

① 指導員養成講習

地域住民のスポーツに対するニーズに対応し、地域スポーツクラブやスポーツ教室における個々人の年齢、競技レベルに応じた競技別の技術指導等にあたる公認の指導者の養成を目的とするスポーツ指導員養成講習会を開催し、共通科目（通信講座）において79名（バレーボール11名、弓道48名、ソフトボール20名）が受講した。

② 上級指導員養成講習会

地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導や事業計画の立案などにおいて、クラブの中心的な役割を担うとともに、広域スポーツセンターや市町村エリアにおいて、競技別指導にあたる者の養成を目的とする上級指導員養成講習会であるが、平成29年度の実施希望がなく、開催していない。

イ スポーツ指導者研修会の開催

(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者及び本県のスポーツ指導者に対し、資質の向上と指導活動の充実を図ることを目的として平成29年7月1日（土）と平成30年2月4日（日）に開催し、県総合教育センターにおいて213名の参加者を得て実施した。

ウ (公財)日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰

永年にわたり公認スポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、今後における公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資することを目的として実施されるものであるが、平成29年度は対象者がなかった。

(5) 広報事業

県民の理解と協力を得るため、本協会活動状況、主催事業等を積極的に広報するとともに、県内のスポーツ情報を収集し、広く県民に情報提供することに努めた。

ア 県体協だよりの発行

イ 体協アワー（栃木放送）による広報

ウ 栃木県体育館月報の発行

エ 今市青少年スポーツセンターパンフレットの発行

オ ホームページによる広報

カ その他新聞・放送等の媒体による広報

(6) スポーツ教室の開設

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

○ スポーツ教室種目（4月～2月） 8講座

・ ZUMBA	1講座（通年：昼間）	（参加者 延べ 2,052名）
・ 健康ヨガ	1講座（通年：昼間）	（参加者 延べ 1,242名）
・ バレトン	1講座（通年：昼間）	（参加者 延べ 840名）

・健康楽のリストレッチ	1講座（通年：昼間）	（参加者 延べ	514名）
・太極拳	1講座（4～10月：夜間）	（参加者 延べ	244名）
・呼吸を感じるゆったりピラティス	1講座（4～10月：夜間）	（参加者 延べ	729名）
・キッズサマースクール	2講座（前期：昼間）	（参加者 延べ	554名）

○ 「とちぎの子ども元気塾」事業

将来を担う子ども達に、様々な運動遊びを行い、身体を動かす楽しさを体験させ、子ども達の発育・発達に応じたスポーツの基礎づくりを行った。

- ・期間 6月～12月 全12回
- ・種目 ユーティリティトレーニング・タグラグビー・アクティブチャイルドプログラム・バドミントン・サッカー・野球・ホッケー・水泳・クライミング・スポーツチャンバラ・スケート
- ・参加人数 延べ 424名

(7) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

日本スポーツ振興センターが行っている「スポーツ振興くじ助成事業」の総合型クラブ創設支援クラブである2クラブに対し、創設に向けた育成支援を実施した。また、県内の総合型クラブに対し、現地ヒアリングを行い、情報交換等を行った。さらに、栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営の充実を図った。

ア クラブ設立・運営支援活動

- ① クラブアドバイザーを1名配置した。
- ② 創設支援クラブ2クラブに現地ヒアリングの実施及び指導・助言を行い、1クラブが平成29年11月に設立した。

イ 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営

- ① 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を2回（4月、12月）開催し、クラブ相互の情報交換やクラブ運営の研修を行った。
- ② 県総合型クラブ交流会を10月に開催し、クラブ間の交流、連携を深めた。  
総合型SCフェスタ（スポーツイベント）を県内6地区において開催し、クラブ間交流及びスポーツ未実施者への啓発を図った。

ウ とちぎスポーツリーダーバンク

指導者を必要としている団体・個人の依頼を受けて、公益財団法人日本体育協会公認資格指導者を紹介する指導者紹介制度の新たな運用形態を構築し、関係競技団体及び市町行政等と連携して周知・啓発を図った。

エ とちぎスポーツクラブセミナー

県内生涯スポーツ関係団体が一堂に会し、連携・協働を深めることを目的としたセミナーを開始した（平成29年12月10日（日））。

## 2 スポーツ少年団育成事業

(1) 市町スポーツ少年団の育成充実

スポーツ活動を通じて、次代を担う青少年の健康な身体と心を育てるとともに、全国的な子どもの体力低下に歯止めをかけるべく、体力向上に寄与した。また、地域社会における豊かな人間関係や連帯感を醸成するため、市町のスポーツ少年団指導者・団員の登録並びに母集団の育成強化を促進し、指導者・リーダーの養成及びスポーツ少年団活動の充実を図った。

ア 市町におけるスポーツ少年団組織の強化

市町スポーツ少年団組織の整備と充実強化を図るため、スポーツ少年団委員総会・指導者協議会等を開催するとともに日本スポーツ少年団及び各都道府県スポーツ少年団と連携強化に努めた。

#### イ 指導者・リーダーの養成

スポーツ少年団活動の充実を図るため、指導者及びリーダーの養成と資質の向上を目的とする講習会・研修会を開催するとともに、市町事業への助成と中央事業への派遣を実施した。

#### ① 講習会・研修会の開催

##### ○ 栃木県スポーツ少年団指導者研修大会

市町においてスポーツ少年団の育成・指導にあっている単位団指導者・市町事務担当者・指導者協議会委員・保護者を対象に、スポーツ少年団育成に係る諸問題の把握と指導者の資質向上を図ることを目的として開催した。なお、研修会に先立ち、日本スポーツ少年団表彰伝達式及び県スポーツ少年団表彰状授与式を行った。

〔平成29年12月3日（日） 県総合教育センターで実施118名が参加した〕

##### ○ 栃木県スポーツ少年団認定員再研修会

再研修義務化に伴い本研修会が認定員資格保持のための義務対象研修となり、認定員の資質の向上並びに団活動の充実を図るため開催した。

〔平成30年2月25日（日） 県総合教育センターで実施127名が参加した〕

##### ○ ジュニア・リーダースクール

スポーツ少年団で中核となるリーダーの養成を図り、将来におけるシニアリーダー、指導者を育成することを目的として開催し、栃木県5名、宇都宮市47名、鹿沼市45名、那珂川町1名、佐野市57名、合計155名を認定した。

##### ○ リーダーズクラブ研修会

スポーツ少年団のリーダーとしての資質の向上、会員相互による情報の交換及び親睦を図ることを目的として、1泊2日の合宿研修を含め4回の研修会を開催した。

〔延べ55名参加 このうち1泊2日の合宿研修を1回実施した〕

#### ② 認定員養成講習会事業への助成

市町においてスポーツ少年団の育成指導にあたる「スポーツ少年団認定員」の養成を目的として、「日本スポーツ少年団指導者制度」に基づくスポーツ少年団認定員養成講習会（都道府県講習会）を開催し、9コース698名が参加した。

#### ③ 中央事業への派遣

##### ○ 日本スポーツ少年団認定育成員研修会（関東ブロック）

スポーツ少年団認定育成員で、認定期間を4ヶ年経過する者に対し「日本スポーツ少年団指導者制度」に基づく更新認定研修会に、該当する育成員16名を派遣した。

##### ○ シニア・リーダースクール

スポーツ少年団リーダーの資質向上を図るとともに、将来における指導者の養成を目的としたリーダースクール（平成29年8月9日（水）～13日（日）静岡県国立中央青年の家にて開催）に4名の団員を派遣した。

#### (2) 全国・関東スポーツ少年大会・スポーツ少年団競技別交流大会等への派遣事業

全国または関東大会等に代表者を派遣し、様々な交流活動により各参加者の資質の向上を図った。

#### ア 第55回全国スポーツ少年大会

期 日：平成29年7月28日（金）～ 7月31日（月）

会 場：新潟県

〔指導者1名、団員5名を派遣した〕

イ 全国スポーツ少年団競技別交流大会（バレーボール・剣道）

- ① バレーボール 期 日：平成30年3月25日（日）～28日（水）  
会 場：群馬県  
県代表：男子 明保男子バレーボール〔宇都宮市スポーツ少年団〕
- ② 剣 道 期 日：平成30年3月25日（日）～27日（火）  
会 場：東京都  
県代表：団体戦5名〔宇都宮市スポーツ少年団〕  
個人戦2名〔栃木市・宇都宮市スポーツ少年団〕

ウ 平成29年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会

- 期 日：平成29年9月30日（土）～ 10月1日（日）  
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター  
〔指導者1名、リーダー1名を派遣した〕

エ 第36回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

- 期 日：平成29年7月28日（金）～ 30日（日）  
会 場：埼玉県さいたま市ほか  
〔軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道の代表チームが参加した〕

オ 第48回関東ブロックスポーツ少年大会

- 期 日：平成29年8月4日（金）～ 6日（日）  
会 場：山梨県  
〔指導者1名、団員8名を派遣した〕

カ 第16回関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

- 期 日：平成29年10月28日（土）～ 29日（日）  
会 場：東京都  
〔指導者1名、リーダー2名を派遣した〕

(3) 県競技別交流大会・交歓会の開催

ア 競技別交流大会

軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・卓球・剣道・柔道・バドミントン・空手道の8競技について、各関係競技団体の協力を得て交流大会を開催し、3,240名の団員の参加があった。

イ 交歓会

市町の小学生団員の代表を対象とし、野外活動や文化活動による交流活動を通して、友情・自立・奉仕の精神を養い、地域における団活動の充実に資することを目的として開催した。

- 期 日：平成29年7月28日（金）～ 30日（日）  
場 所：今市青少年スポーツセンター  
〔指導者8名、団員26名の参加があった〕

(4) スポーツ少年団国際交流事業

スポーツ少年団の発展を目的に世界的視野を持った将来のリーダーを育成するため、(公財)日本体育協会が実施するスポーツ少年団リーダー等の海外派遣及び受入事業を実施した。

ア 第44回日独スポーツ少年団同時交流

派 遣

- 期 日：平成29年7月31日（月）～ 8月17日（木）

派遣先：ドイツ連邦共和国

派遣者：団員 石渡 成（宇都宮市）、高橋 利久（鹿沼市）、大橋 港（鹿沼市）

受 入

期 日：平成29年7月24日（月）～ 7月28日（金）

受入先：栃木市

(5) 顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位スポーツ少年団並びに指導・育成に貢献し功績のあった登録指導者等を表彰した。

[ 登録指導者表彰 5名、単位団表彰 7団、育成母集団表彰 4団、功労者表彰 1名 ]

### 3 競技力向上事業

国民体育大会において常に上位の成績を狙えるよう競技力の向上に努めるとともに、国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成を図るため、競技団体及び関係機関・団体との緊密な連携のもと各種事業の推進を図った。

(1) 国体選手等派遣事業

国民体育大会に、本県選手団を派遣し、併せて大会で活躍した選手等を奨励することにより、県内の競技力向上とスポーツ振興に寄与した。

(2) 選手育成強化運営事業

ア スポーツ医・科学委員会研究班員会の開催

健康管理調査研究班員会：国民体育大会における選手の健康管理調査を実施し、大会参加中の事故防止に努めた。ドーピング防止教育について理解を深めるとともに検査実施に戸惑いなく対応し、競技に専念できるように支援した。

イ 競技用具貸与支援

本協会が保有するヨット等の競技用具を競技団体に無償で貸与し、競技の普及・強化を図った。

## ※ 参 照 国民体育大会

(1) 関東ブロック大会(群馬県開催)

ア 実施競技（33競技）

○ 本大会競技 32競技  
○ 冬季競技 1競技

イ 中心会期

○ 本大会 平成29年 8月18日（金）～ 20日（日）  
○ 冬季大会 平成29年12月15日（金）～ 17日（日）

(2) 国民体育大会

ア 第72回本大会（愛媛県） 平成29年 9月 6日（水）～ 13日（水）  
平成29年 9月30日（土）～10月10日（火）

イ 第73回冬季大会

○ スケート競技会（山梨県） 平成30年 1月28日（日）～2月 1日（木）  
○ アイスホッケー競技会（神奈川県） 平成30年 1月27日（土）～2月 1日（木）

#### 4 今市青少年スポーツセンター事業

スポーツを通じて青少年の健全育成と地域スポーツの振興、また、生涯スポーツの実践拠点並びに競技スポーツの拠点として、施設の有効活用と適正な管理運営を図った。

##### (1) スポーツ推進事業

###### ア スポーツ教室の開設

〈種 目〉

・ピラティス 2講座（春、秋：一般男女対象）（参加者 延べ 923名）

##### (2) 施設無料開放

県民の日記念協賛事業として、各種スポーツ教室の無料体験及び施設を一般に無料開放した。

開 放 日：平成29年6月11日（日） 参加者：324名

・各施設の無料開放

・各種スポーツ無料体験

小学生ホッケーセミナーwith グラクソ、ダンスエアロビクス、ピラティス

##### (3) 施設整備事業

施設利用者の安全と利用人員の増加を図るため、施設の保守整備・環境整備を実施した。

##### (4) 日光市ホッケー場管理運営業務

日光市から委託を受け、日光市ホッケー場の管理及び運営業務を行った。

##### (5) 宿泊者・外来者の利用促進

平成29年度利用者数

・宿泊利用者 7,683名

・施設利用者 74,708名

#### 5 栃木県体育館等管理運営事業

本県体育スポーツの中核施設として、施設の適正な管理運営を図るとともに、スポーツ教室、各種イベント等の事業を開催し、本県体育スポーツの振興を図った。

##### (1) 会議の開催

ア 栃木県体育施設協会理事会 平成29年 7月 7日（金） 本館大会議室

イ 栃木県体育施設協会理事会、研究協議会 平成29年12月 8日（金） 公園事務所会議室

ウ 専用利用調整会議 平成30年 2月13日（火） 武道館大会議室

##### (2) スポーツ教室の開設（再掲）

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

○ スポーツ教室種目（4月～2月） 8講座

・ZUMBA 1講座（通年：昼間）（参加者 延べ 2,052名）

・健康ヨガ 1講座（通年：昼間）（参加者 延べ 1,242名）

・バレトン 1講座（通年：昼間）（参加者 延べ 840名）

・健康楽のリストレッチ 1講座（通年：昼間）（参加者 延べ 514名）



・太極拳	1講座（4～10月：夜間）	（参加者 延べ	244名）
・呼吸を感じるゆったりピラティス	1講座（4～10月：夜間）	（参加者 延べ	729名）
・キッズサマースクール	2講座（前期；昼間）	（参加者 延べ	554名）

(3) 県民の日記念協賛事業（施設無料開放）

平成29年6月15日（木） 栃木県体育館内全施設 参加者：584名

(4) 武道館協議会共催事業

- ア 栃木県宇都宮市地域社会合気道指導者研修会  
平成29年10月21日（土）～22日（日） 栃木県武道館
- イ 地域社会少林寺拳法指導者研修会  
平成29年10月28日（土）～29日（日） 栃木県武道館
- ウ 地方青少年なぎなた錬成大会  
平成29年 7月 8日（土）～ 9日（日） 栃木県武道館

(5) 貸館業務（本館・別館・武道館・弓道場・プール館）

利用者延数	専用利用	131,438名
	普通利用	58,323名（専用・普通利用合計 189,761名）
	その他	11,599名（会議室 11,015名）
	合計	201,360名

(6) 施設の点検整備

施設の利用者の安全と適正な管理運営を図るため、各施設の点検整備を行った。

- ア プール館非常用照明修繕工事
- イ プール館男子更衣室換気扇修繕
- ウ 武道館外部汚染管詰まり洗浄
- エ 本館プール館自動券売機修理
- オ 本館卓球台脚取付・溶接（No.8・No.9）
- カ 移動式バスケットゴールアウトリガー修繕（No.3）
- キ 武道館ワイヤレスマイク修繕
- ク 武道館照明器具修繕工事
- ケ プール館男子シャワー室水栓修繕
- コ 弓道場近的場雨戸交換工事

## 6 スポーツ安全協会委託業務

公益財団法人スポーツ安全協会から委託を受ける、スポーツ傷害等の団体保険に関する業務を行った。

## 7 協会運営

本協会の運営について、基本的事項を協議するとともに事業を遂行するため次のとおり、理事会等を開催した。

(1) 理事会（3回）

第1回理事会（平成29年6月1日）

- 協議事項 1.平成28年度公益財団法人栃木県体育協会事業報告について 2.平成28年度公益財団法人栃木県体育協会収支決算について 3.副会長の推薦及び顧問の推挙について 4.評議員候補者の推薦について 5.理事候補者の推薦について 6.栃木県総合射撃場建

## 物等一式の撤去について

報告事項 1.職務執行状況の報告について 2.第77回国民体育大会開催申請について

### 第2回理事会（平成30年1月19日）

協議事項 1.顧問の推挙について 2.平成29年度スポーツ顕彰について ①スポーツ功労賞 ②スポーツ優良団体賞 ③スポーツ優秀選手賞 ④船田スポーツ賞 ⑤国民体育大会優秀団体・監督・選手感謝状 3.加盟団体の脱退について 4.公益財団法人栃木県体育協会第2回評議員会の招集及び提出議題について

報告事項 1.退任役員等に対する感謝状の贈呈について 2.とちぎスポーツフェスタ2017実施結果について 3.第72回国民体育大会結果概況について 4.第77回国民体育大会デモンストラションスポーツ実施競技にかかる推薦について（第2次・第3次選定） 5.職務執行状況の報告について

### 第3回理事会（平成30年3月27日）

協議事項 1.常勤役員に対する報酬等の支給額について 2.特定資産（栃の葉国体記念スポーツ振興基金）について 3.平成30年度公益財団法人栃木県体育協会事業計画について 4.平成30年度公益財団法人栃木県体育協会収支予算について 5.平成30年度公益財団法人栃木県体育協会第1回評議員会（定時評議員会）の招集及び提出議題について 6.事務局長の任用について

## (2) 評議員会（2回）

### 第1回評議員会（平成29年6月16日）

協議事項 1.平成28年度公益財団法人栃木県体育協会事業報告について 2.平成28年度公益財団法人栃木県体育協会収支決算について 3.副会長の推薦及び顧問の推挙について 4.評議員候補者の推薦について 5.理事の選任について

報告事項 1.第77回国民体育大会開催申請について

### 第2回評議員会（平成30年3月22日）

協議事項 1.顧問の推挙について 2.加盟団体の脱退について

報告事項 1.平成30年度公益財団法人栃木県体育協会事業計画について 2.平成30年度公益財団法人栃木県体育協会収支予算について

## (3) 専門委員会

ア 総務委員会（3回）

イ スポーツ医・科学委員会（2回）

ウ 競技力向上委員会（休止）

## (4) 賛助会

県民総スポーツの振興が果す社会的役割と、これを推進する本協会の諸事業について県民各層の理解を得るとともに、事業実施に必要な資金を調達し財政確立を期するため、企業団体、加盟団体、個人会員等に働きかけ、賛助会員の加入促進を図った。〔賛助会員223者、277口〕

## (5) 国際交流事業

ア 日韓スポーツ交流事業・地域交流推進事業として、剣道競技を受け入れた。